

出席停止期間の確認をお願いします



例年、冬に流行するインフルエンザですが、今年はすでに感染が拡大しています。全国的にインフルエンザの流行時期が例年より早まっていて、新型コロナウイルスの感染拡大、インフルエンザとの同時流行も懸念されています。

新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に罹患した場合、学校は出席停止となります。下記の出席停止期間の確認をしていただき、罹患した場合は期間に沿って療養してください。また、右側に学校でよくみられる学校感染症の一覧を掲載しています。ご確認ください。

新型コロナウイルス

【発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで】

出席停止期間後も、発症から 10 日を経過するまでは、当該児童生徒に対してマスクの着用を推奨されています。

【例：2日目に症状が軽快した場合】

発症日		症状軽快				
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能

発症して5日を経過しても、症状が軽快して1日を経過しないと登校できません。

【例：4日目に症状が軽快した場合】

発症日					症状軽快		
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	
出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能

インフルエンザ

【発症後五日を経過し、かつ解熱後二日を経過するまで】

【例：2日目に解熱した場合】

発症日		解熱				
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能

発症して5日を経過しても、解熱をして2日を経過しないと登校できません。

【例：4日目に解熱した場合】

発症日				解熱			
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登校可能

学校でよくみられる感染症

第二種	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで	
	新型コロナウイルス	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで	
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適切な抗菌剤による治療が終了するまで	
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好となるまで	
	風しん	発疹が消失するまで	
	水痘（水ぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで	
	咽頭結膜熱	主要症状が消失した後2日を経過するまで	
	結核	症状により学校医その他医師が感染の恐れがないと認めるまで	
	髄膜炎菌性髄膜炎	〃	
第三種	コレラ	〃	
	細菌性赤痢	〃	
	腸管出血性大腸菌	〃	
	腸チフス	〃	
	パラチフス	〃	
	流行性角結膜炎	〃	
	急性出血性結膜炎	〃	
	その他の感染症	溶連菌感染症	適切な抗菌剤治療開始後 24 時間を経て全身状態が良ければ登校可
		ウイルス性肝炎	A 型、E 型、肝機能正常化後登校可能
			B 型、C 型 出席停止不要
		手足口病	発熱や咽頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校可
		伝染性紅斑	発疹（リンゴ病）のみで全身状態が良ければ登校可
		ヘルパンギーナ	発熱や咽頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校可
		マイコプラズマ肺炎	急性期は出席停止、全身状態が良ければ登校可
感染性胃腸炎		下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能	
アタマジラミ		出席可能	
伝染性軟属腫（水いぼ）		出席可能（プール、入浴は避ける）	
伝染性膿痂疹（とびひ）	出席可能（プール、入浴は避ける）		

上記以外の感染症に感染した場合は主治医の指示に従ってください。不明な場合は学校へお問い合わせください。